

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	17β-Methoxy-5β-androstan-3α-ol 3-phosphate
製品コード	
供給者の会社名	株式会社BioPhenoMA
住所	東京都新宿区西早稲田1-22-3 早稲田大学アントレプレナーシップセンター
電子メールアドレス	info@biophenoma.com
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類できない
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感受性	分類できない
	皮膚感受性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（1）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（2）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（3）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（4）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（5）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（6）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（7）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（8）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（9）	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（10）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（1）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（2）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（3）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（4）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（5）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（6）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（7）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（8）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（9）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（10）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
GHSラベル要素		分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	17β-メトキシ-5β-アンドロスタン-3α-オール 3-ホスファイト
別名	17β-Methoxy-5β-androstan-3α-ol 3-phospahte
組成物質（1）	
組成物質（2）	
組成物質（3）	
濃度又は濃度範囲	
分子式（分子量）	C ₂₀ H ₃₅ O ₅ P

化学特性 (示性式又は構造式) CAS登録番号 (CAS RN)		1400667-30-2
4. 応急措置		
吸入した場合		空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合		汚染された衣類を直ちに脱ぐこと、取り除くこと。直ちに石鹼と多量の水で洗うこと。皮膚刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状		情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項		ゴム手袋などの防護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項		情報なし
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤		情報なし
火災時の特有の危険有害性		有害な燃焼ガスや蒸気を生じる恐れあり
特有の消火方法		情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣を着用すること
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		局所排気、全体換気を行い、漏洩物への接触、吸入を避ける。関係者以外の立入りを禁止する。作業の際は保護衣を着用する。風下の人を退避させ、風上から作業する。
環境に対する注意事項		排水路に排出されないよう注意する
封じ込め及び浄化の方法及び機材		漏出物を掃き集め、密閉容器に回収する。
二次災害の防止策		汚染された場所を十分に清掃する
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	適切な防護具を着用する。局所排気装置を使用する。
	安全取扱い注意事項	皮膚、眼、衣服との接触を避ける。換気の良い場所で取り扱う。
	接触回避	情報なし
	衛生対策	取扱い後は手、顔等をよく洗うこと。
保管	安全な保管条件	容器を密閉して-20℃以下の冷凍庫に保管すること。
	安全な容器包装材料	十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		設定されていない
許容濃度	日本産衛学会 ACGIH	設定されていない 設定されていない
設備対策		密閉化した設備または局所排気装置を設置する。この物質を取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	呼吸用保護具	防塵マスク
	手の保護具	保護手袋
	眼、顔面の保護具	保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	保護衣
特別な注意事項		
9. 物理的及び化学的性質		

物理的状態	物理状態 色 臭い	粉末 白色 情報なし 臭い
融点・凝固点		187-188℃
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
引火点		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
動粘性率		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び／又は相対密度		情報なし
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		情報なし
その他データ		情報なし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		推奨保管条件下において安定
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		高温
混触危険物質		酸化剤
危険有害な分解生成物		二酸化炭素、一酸化炭素
11. 有害性情報		
急性毒性 (経口)		情報なし
急性毒性 (経皮)		情報なし
急性毒性 (吸入：気体)		情報なし
急性毒性 (吸入：蒸気)		情報なし
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)		情報なし
皮膚腐食性／刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		情報なし
呼吸器感作性		情報なし
皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
生殖毒性・授乳影響		情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし
12. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性 (短期/急性)	情報なし
	水生環境有害性 (長期/慢性)	情報なし
残留性・分解性		情報なし
生態蓄積性		情報なし
土壤中の移動性		情報なし
オゾン層への有害性		情報なし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
----------	---

1 4 . 輸送上の注意

国際規制	国連番号 品名（国連輸送名） 国連分類 （輸送における危険有害性クラス） 副次危険 容器等級 海洋汚染物質 MARPOL73/78附属書 II 及び IBCコードによるばら積み 輸送される液体物質 その他の安全対策	該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし
国内規制	海上規制情報 航空規制情報 陸上規制情報	該当なし 該当なし 該当なし
特別な安全上の対策		
その他（一般的）注意		
緊急時応急措置指針番号		

1 5 . 適用法令

労働安全衛生法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
労働基準法	該当なし
化審法	該当なし
消防法	該当なし
大気汚染防止法	該当なし
水質汚濁防止法	該当なし
水道法	該当なし
下水道法	該当なし
海洋汚染防止法	該当なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当なし

1 6 . その他の情報

[注意] 本SDSIはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。